



スイカの防除(2024年4月)

—菌核病、アブラムシ類、ハダニ類対策—

本年は天候が安定せず、交配に苦戦されている方が多く見受けられます。
また、果実の肥大初期に低温にあたり、裂果の発生もありました。日中の気温は高くなってきましたが、朝晩は冷え込みますので、温度確保に努めてください。

【菌核病対策】

交配前～果実肥大期に低温・多湿となると菌核病が発生しやすくなります。発生が見られなくても防除を行いましょう。

散布剤の使用方法和特性

薬剤名	希釈倍数	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	予防効果	治療効果	浸透移行	ミツバチ影響日数
カンタスドライフロアブル	1000～1500倍	前日まで	3回以内	◎	△	△	0日
スミレックス水和剤	1000～2000倍	7日前まで	5回以内	○	○	○	1日
ロブラル水和剤	1000倍	前日まで	4回以内	○	○	○	1日
ベルコートフロアブル	1000倍	前日まで	4回以内	○	×	×	0日

くん煙剤の使用方法和特性

薬剤名	使用量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	ミツバチ影響日数
ロブラルくん煙剤	くん煙室容積300～400立方m (高さ2m、床面積150～200平方m)あたり100g(50g×2個)	前日まで	4回以内	1日

※ロブラル水和剤、ロブラルくん煙剤の同成分(イプロジオン)の総使用回数は4回迄なので、注意しましょう。

【アブラムシ類・ハダニ類対策】

現在、アブラムシ類・ハダニ類の発生は確認されていませんが、今後気温の上昇に伴い、害虫が活発に活動し始めますので、防除を行いましょう。

発生初期の防除、散布ムラがないよう葉裏にも届くように散布しましょう。

散布剤の使用方法和特性

薬剤名	希釈倍数	適用害虫名	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	ミツバチ影響日数
モスピラン顆粒水溶剤	2000～4000倍	アブラムシ類	3日前まで	3回	1日
チェス顆粒水和剤	5000倍	アブラムシ類	3日前まで	4回	0日
マイトコーネフロアブル	1000倍	ハダニ類	前日まで	1回	1日
モベントフロアブル	2000倍	アブラムシ類 ハダニ類	前日まで	3回	1日
ダニサラバフロアブル	1000倍	ハダニ類	前日まで	2回	1日
ウララDF	2000～4000倍	アブラムシ類	前日まで	2回	0日
グレーシア乳剤	2000倍	ハダニ類	前日まで	2回	1日

◎ハダニ類は抵抗性が発達しやすいので、異なる薬剤のローテーション散布を心掛けて下さい。